

## 地域コミュニケーションデザイン・コーディネータ実践

授業科目名	地域コミュニケーションデザイン・コーディネータ実践	単位数 2 単位
英語標記	How to practice coordinator for local area communication-design	
授業コード	360217	
受講人数	20 人程度	
担当教員	金水 敏	
対象	全研究科大学院生、3 年次以上の全学部生	
開講時間等	第 2 学期＝基本的に木曜 5 限だが、受講者の希望により変更可能	
開講場所	豊中キャンパス：大学教育実践センターステューデントコモンズセミナー室 2 その他	
キーワード	社会学連携活動、コーディネータ、インターンシップ、カフェ活動	
授業の目的	1. 大阪大学の社会学連携活動の拠点である、「大阪大学 21 世紀懐徳堂」のスタッフとして実際に運営に参加することで、大学の一員として社会と接していく上でのコミュニケーション・スキルを学んでいく。 2. 各種イベントのコーディネータ、プロデューサとして必要となる基礎知識を学ぶ。 3. サイエンスカフェ、哲学カフェ、減災カフェ、アートカフェなど、専門家と非専門家が対話する過程において、専門家の側に求められる態度を具体的に修得する。 4. 自らの専門領域が、いかにして社会に開かれるべきかを考える態度を身につける。	
講義内容	この授業は、1 学期の「地域コミュニケーションデザイン・コーディネータ入門」（以下、「入門」）を受講したものが受講可能である。「入門」で身につけた、基本的な知識・技術を応用して、21 世紀懐徳堂の運営に関わるさまざまな企画を立案し、実践していく。活動内容は、適宜、レポート等の課題を通じて報告していく。	
教科書	なし	
参考書	なし	
成績評価	課題提出による。	
履修条件・受講条件	1 学期の「地域コミュニケーションデザイン・コーディネータ入門」を受講していること。	

### 21 世紀懐徳堂とは

懐徳堂は、1724 年に大坂の町に開かれた学問所ですが、他の藩の藩校などとは異なり、武士と町人の身分の差なく誰でも対等に学べる開かれた学舎（まなびや）として 1869（明治 2）年まで存続しました。懐徳堂からは、当時最先端の哲学・古典学・自然科学をリードする優れた人材が続々と輩出されました。一方、1931 年に我が国 6 番目の帝国大学として出発した大阪大学は、設立の資金を国と民間が出し合い、市民に望まれた大学として誕生しました。それ故に、幕末の蘭学塾である適塾とともに、懐徳堂を精神的源流と位置づけているのです。

2008 年大阪大学は、懐徳堂の精神を受け継ぎ、その知的資源を市民に開いていく拠点として 21 世紀懐徳堂を本格オープンさせました。21 世紀懐徳堂は、大阪大学のすべての社会学連携活動の情報を集約し、ホームページ等の媒体を通じて市民に分かりやすい形で伝えていくとともに、市民からの要望・問い合わせに対応し、市民と大学をつなぐコーディネータとしての役割を果たします。また、「大阪大学中之島講座」[Handai-Asahi 中之島塾] その他、独自の社会学連携活動の運営にも当たります。コミュニケーションデザイン・センターや総合学術博物館等と協力して、サイエンスショップや各種カフェ活動を展開します。即ち、21 世紀における地域市民のセルフラーニングの拠点となることを目指します。

### インターンシップの場として

21 世紀懐徳堂は、その運営に、教職員だけでなく学生、保護者、地域の住民の皆さんが参加するという、国立大学にはかつて無かった特色を持っています。この授業の受講生は、正式のスタッフとして、21 世紀懐徳堂の運営に参加します。

### 何が学べるか

1. 自分の属する狭い専門分野に限定されない、大阪大学の歴史、研究・教育活動、社会貢献活動全体について、体験的に学ぶことができます。
2. 大学の顔として、市民社会に対応する体験を通して、通常の授業やサークル活動では得られない、高いコミュニケーション・スキルを身につけることができます。
3. 座学に加え、各種イベントの実務、企画、運営に携わることにより、地域に開かれた大学の役割を体験的に学ぶことができます。また、コーディネータ、プロデューサの仕事についても具体的に知ることができます。
4. 哲学カフェ、サイエンスカフェ等の活動に参加することにより、対話的・双方向的な新しい知識の流通・消費のあり方を知ることができます。

### どのように学ぶか

この講義では、講義形式の座学、現地（イ号館ギャラリー、総合学術博物館、中之島センター他）での実習、e-learning（WebCT に置いた課題をダウンロードし、報告をアップロードする）、グループワーク（イベントの企画書作成）等の多彩な学習形式を通して評価を行います。

### さらに関心のある人は、

この講義は、高度副プログラム「コミュニケーションデザイン」の一部をなしています。関連する講義を取ることによって、修了証が得られます（一部、制限有り）。また、21 世紀懐徳堂の活動には引き続き、ボランティア、TA 等の形で参加し続けることができます。